

# 県北中学校の外壁等を改修

## 改修費用5217万円を計上

平成27年度補正予算のうち、一般会計(第1号)では、7853万円を増額し、予算総額113億853万円とすることを全員賛成で可決しました。  
 主な増額は、県北中学校の外壁の改修5217万円によるもので、その財源はおもに補助金や町債(借金)でまかないます。



校庭から見た県北中学校

### 質疑

#### 県北中学校外壁改修工事の範囲

#### 内容は

#### 問

(佐藤定男議員)

県北中学校の外壁改修工事で総額1億400万円ほど計上されているが、業者の選定や工期、外壁改修の範囲は。

#### 次長

工期は授業に差し支わりのない今年の夏休みから来年の8月の夏休みまでと考えている。改修範囲は校舎の全体となる。なお、業者についてはこれから入札を行って決定する。

平成27年度補正予算のうち、一般会計(第1号)では、7853万円を増額し、予算総額113億853万円とすることを全員賛成で可決しました。  
 主な増額は、県北中学校の外壁の改修5217万円によるもので、その財源はおもに補助金や町債(借金)でまかないます。

#### 改修工事は屋根も対象になるか

#### 問

(渡辺勝弘議員)

美術室前の廊下で雨漏りがひどいと聞いたが、今回の改修工事は屋根も対象となるのか。  
 美術室のある1階の屋根の改修も併せて考えている。

#### 次長

美術室のある1階の屋根の改修も併せて考えている。

### 平成27年度一般会計補正予算(第1号)のおもな内容

#### 【おもな事業】

・県北中学校外壁の改修	5217万円
・災害救助に関する貸付金の返済	900万円
・義経まつりなどまちづくり事業のための委託料	570万円
・ふるさとまつり事業のための補助金	300万円
・1000年のまち。これから100年のまちづくり事業のための補助金	100万円
・その他(国勢調査に関する委託料など)	766万円
計	7853万円

#### 【おもな財源】

・地方交付税	122万円
・国・県からの補助金	2016万円
・前年度からの繰越金	1105万円
・町債(県北中学校外壁改修のための借金)	3600万円
・その他(県の新規事業による助成金など)	1010万円
計	7853万円

#### まちづくり事業に要する委託料大幅増の理由は

#### 問

(阿部泰藏議員)

義経まつりなどまちづくり事業委託料570万円は、当初予算編成時点では計上できなかったのか。

#### 企画情報

県の新規事業の発表が今年3月に入ってからのもだったため、当初予算編成時点

では計上できず今回補正したものである。

#### 問

(阿部泰藏議員)

今回大幅に予算が増額されたのはなぜか。

#### 企画情報

県の事業「みらいを描く市町村等支援事業」の助成金を利用し、町民の元気を取り戻す事業、合併60周年の記念事業として義経まつりやふるさとまつりなどの事業費分の増額である。

県の事業「みらいを描く市町村等支援事業」の助成金を利用し、町民の元気を取り戻す事業、合併60周年の記念事業として義経まつりやふるさとまつりなどの事業費分の増額である。

## 町長の行政報告

### ■東日本大震災からの早急な復旧・復興

- 住宅・宅地除染の除染完了戸数は、2,771戸（7月15日現在）。平成27年度実施分の約330戸についても既に発注され、仮置き場も藤田地内に1か所確保し、全体で11か所となった。道路除染については、221路線、約72.8kmを発注。
- ホールボディカウンターによる内部被ばく検査は、中学生が終了。6月末から国見小学校の児童、7月からは4歳児未満と保護者、幼稚園児や高校生を対象に検査を実施。一般希望者の検査を進める。
- ガラスバッジによる外部被ばく量の測定は、中学生以下と一般希望者を対象に8月から3か月間での実施を予定。
- 県北浄化センターの仮設汚泥乾燥施設では、6月1日から乾燥汚泥の飯館村への搬出が始まり、平成29年3月末までに全量搬出する予定。
- 役場新庁舎は、5月に開庁式と合併60周年記念式典を開催。
- 文化センターホールの復旧については、観覧席後部付近の支柱にゆがみと損傷があったものの、修復可能との調査結果があり、早期に復旧を進める。

### ■安全安心な町政の実現

- 空き家・空地対策では、検討委員会を設置し、空き家対策と空地の活用促進を図るため、計画づくりを行う予定。
- 町は平成27年6月1日午前0時をもって交通死亡事故ゼロ4000日を達成した。

### ■活力ある町政の実現

- 道の駅（交流の場）の整備にかかる造成工事を6月に開

始し、10月の完了に向けて進めている。施設の管理・運営をする「国見まちづくり株式会社」の登記が3月26日に完了。道の駅出荷組合については3月に設立総会を開催し、現在約230名の組合員が参加。「くにみ市場」は7月4日に初開催。12月までに計12回開催される。

- まちづくり推進事業では、本年は60周年記念事業として、9月20日に20回目の開催となる義経まつりを元気・活力事業のメイン事業としている。

### ■思いやりのある町政の実現

- 廃校利用では、旧大木戸小学校について文化財の展示資料室や収蔵施設として活用できるよう文化庁と協議中。
- くにみもたん広場は、5月22日現在で延べ入場者数6万人を突破。

### ■町の継続的な維持発展

- 「まち・人・しごと創生総合戦略」の策定については、6月に有識者会議を開催した。また、7月に地域経済の循環や消費喚起のためにプレミアム商品券を販売。
- 「国見町歴史まちづくり計画」は、下二重堀地区の整備について具体的な検討を進めるほか、パンフレット作成やPRに努めるとともに、歴史的建造物の調査などの取り組みを進める。
- クリーンアップ作戦は、地域の美化活動を再開するため、4年ぶりに7月5日に実施。
- 「国見学園コミュニティ・スクール委員会」は、5月20日に今年度第1回の委員会を開催し、意見交換を行った。

### 傍聴者からの

## 声

## 「住みやすくなったと言われるまちづくりを」

6月議会を傍聴したみなさんからアンケートによりたくさんの意見をいただきました。

- 議長・副議長選挙で白票1票、無効票2票だったのは非常に残念。町民の代表である方々なので意志をはっきりしてほしい。（60代・女性）
- マイクの使い方が良くない人がいて良く聞き取れなかった。（80代・女性）
- 傍聴席の防護ガラスをもう少し高くすれば傍聴しやすい。（60代・女性）
- 傍聴席から議員の行動が良く見えない。町関係者と議員席を替えられないか。（60代・男性）
- 単なる給料取りにならず、まず町民第一の心を忘れず、本当に住みやすくなったと言われる町づくりをしてほしい。（60代・女性）
- 議場に時計を設け、国旗や町旗を掲げてはどうか。（60代・男性）
- 議会開会時間を9時または9時半にしてはどうか。（60代・男性）
- あまり町民は議会運営に興味を持たないのと感じた。（60代・女性）
- 内容をもっと調べてから質問してほしい。（70代・女性）
- 答弁者の言葉遣いが丁寧でわかりやすく良かった。このようにアンケートを取ったことも大変良いと思う。（70代・女性）
- 議員は積極的に弱い立場の町民に寄り添うことが大切だと思う。（70代・女性）
- 発言するまでの呼名と名乗りが国会の真似なのかどくて長い。（男性）